

編集委員会



森脇 真一先生



梶本 宜永先生



上杉 康夫先生



萩森 伸一先生



寺崎 文生先生



新田 雅彦先生



元村 直靖先生



津田 泰宏先生



田中 慶太郎先生



中野 隆史先生



瀧谷 公隆先生

大阪医科大学医師会事務局（村上真理子・池田則子・神門せつ子）

編集後記

今回の座談会のテーマは、「教育理論をいかに実践するか」です。大学に所属の先生方には、ひしひしと感じられていると思いますが、医学部の教育は様々な変革の最中です。具体的には、「臨床参加型の臨床実習」、「新カリキュラムへの移行」、「CBT厳格化やpost CC OSCE導入」、「アクティブラーニング活用」…など。これらの変革のうねりは多様ではありますが、その考え方の底流には「教育理論」が存在しており、「教育理論」を理解することで、これらの変革の本質が見えてきます。

今回の座談会では、医学部教育の変革を担っていただいております医学教育センター教員を中心に集まっていただき、活発に議論していただきました。

編集委員長 梶本 宜永